

34. 子どもが利用する壊れたおもちゃの診察治療する 「おもちゃ病院」活動

グループ名 おもちゃ病院にいがた

代表者 大沢 博雄

① 活動の目的

こどもが利用する壊れたおもちゃを無償で診察治療するおもちゃ病院の活動を通じて物を大切にすることを育むと同時に、修理して使い続ける技も伝えていきたい。

活動の中心を担う高齢者（活動の中心は60～80歳代の男性）の生きがい、やりがい活動として展開します。

② 活動概要

1、新潟市内（8区全域）で定期的に「おもちゃ病院」を開院して、壊れたおもちゃを1、無償で診察して治療する活動を行いました。

新潟市 西区4か所（ほんぽっぼ 坂井輪 内野 小針）

東区2か所（区役所 エコープラザ）

中央区2か所（鳥屋野公民館 関屋公民館）

西蒲区 南 秋葉 江南 中央 は各一か所 さらに田上でも開催

合計 15か所で定期開院し、市民の皆さんから利用しやすい環境で開院しました。

その他、イオン青山 アクアパークにいがた 社会福祉協議会等の依頼を受けて、臨時に出張開院もしました。

2、物を大切にすね心を育むため 市民を対象にした 修理の技を教える講習会を開催しました。

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支出	おもちゃ修理部品（ギア等）	50,400円
	高機能接着剤	20,488円
	導電塗料 振込手数料含む	14,860円
	講習会用の用具 半田ごて 回路計等	20,464円
金額が大きいおもちゃ修理部品は、計画段階では単価5000円でしたが、値上がりで単価が6000円になった関係で、講習会用具の品質で調整しました。		
合計		106,212円

助成金を上回った金額はおもちゃ病院にいがたの会計から支出しました。

購入物品の写真

左がおもちゃ病院全国協議会から購入した 修理部品のパック

中央が接着剤ボンデック

右が プラスコート社の導電塗料 以上は各区の病院に配備するため、8組購入



修理の技の講習会の様道具セット

5セット購入しました



講習会について、ドクター対象の技術向上講習は清野副会長が毎月秋葉で開催しました。市民向けについては、定員5名という少人数で実施、小学校1年生や専門学校生から70代まで幅広い年代の方から参加していただきました。特に小学1年生も大人と一緒にドライバーで分解したり半田ごてで断線を修理したりと同じように体験できました。

「DIY(自分でやる)・修理に挑戦!!」
おもちゃドクターから修理の技を学ぼう!

おもちゃドクターはボランティアで修繕しているおもちゃ修理の会(任意)です。おかげさまでおちちの修理が出来ます。おもちゃには修理後の保証を付したおちちの修理が出来ません。おもちゃドクターの修理の技・ノウハウを伝えたいと思っております。是非参加してみてください。

※ 後・エコー・ライブ 2階

日 時 2019年1月19日(土) 13時30分～15時 申し込み 受付中
 2月16日(土) 13時30分～15時 申し込み 受付中
 3月16日(土) 13時30分～15時 申し込み 受付中

※ 参加費 参加費は別紙に記載。工具は保証書に
 持ち来てください

申し込み おちち・修理に挑戦したいおちちのドクターのページから申し込みをお願いします。

講習の概要

- おちちを分解して構造を理解する
- 電池の詰
- テスターの使い方と実習
- 半田ごての使い方と実習
- 接着剤の詰

※ 参加費 別紙に記載のとおりです。おちちの修理は無料です。

